



## 盛岡市プレスリリース

～輝きが増し 活力に満ち 夢をかなえるまち盛岡～

令和8年6月5日  
教育委員会事務局  
歴史文化課

市政記者クラブ加盟社 各位

### 原敬記念館第70回企画展「内務大臣・原敬—巨大官庁“内務省”を率いた男—」を開催します

明治39年(1906)、原敬は第一次西園寺公望内閣の内務大臣に就任します。内務大臣は地方行政や警察行政、土木行政や衛生行政など様々な内務行政を統轄した内務省のトップであり、事実上の副総理といえるポストでした。それまで原は内務省と無縁でしたが、内務大臣就任後は警視庁改革をはじめとする多くの改革を行い、政党政治家として頭角を現していきます。特に郡制廃止法案の提出は藩閥と戦う政治家というイメージを世間に与えました。その後も第二次西園寺公望内閣、第一次山本権兵衛内閣の内務大臣を歴任する中、管轄外の案件にも携わるなど、原は政治家として大きく成長していきます。

今年は原が初めて内務大臣に就任して120年となることから、原が内務大臣としてどのような政策を進めたのか関連資料を通して紹介します。

#### 記

【日時】 令和8年6月13日(土)～令和8年8月16日(日)  
9時00分～17時00分(最終入館16時30分)

【休館日】 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)、臨時休館日6月30日(火)

【場所】 原敬記念館小ホール

【入館料】 一般300円、高校生200円、小中学生100円 ※盛岡市内の小・中学生は無料

【主催】 原敬記念館(所管:盛岡市教育委員会)・(公財)盛岡市文化振興事業団

#### 【イベント】

##### ギャラリートーク

【日時】 第1回 令和8年7月4日(土) 13時30分～14時15分  
第2回 8月8日(土) 15時15分～16時00分

【場所】 原敬記念館小ホール

【講師】 佐々木 章行(原敬記念館主任学芸員)

【料金】 入館料が必要(第2回のみ同日開催の講座参加者は無料)

【定員】 各回20人(先着順)

##### 【お申し込み・受付方法】

第1回:6月13日(土)、第2回:7月18日(土)

いずれも10時00分～電話にて受付

#### 原敬記念館 学芸員講座「巨大官庁“内務省”と原敬」

【開催日】 令和8年8月8日(土)

【時間】 13時30分～15時00分

【場所】 原敬記念館 ロビー

【内容】 内務省と原敬の関わりを解説します。

【講師】 佐々木 章行(原敬記念館主任学芸員)

【料金】 無料

【定員】 20人(先着順)

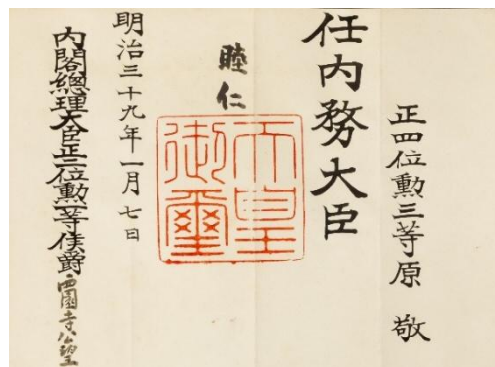
【お申し込み・受付方法】

7月18日（土）10時00分～電話にて受付



「郡制廃止ヲ可トスル理由」（当館蔵）

内相となった原は、日本の地方制度として存在していた郡制の廃止を目指した。藩閥の中心人物である山縣有朋が作った郡制の廃止に挑んだことで、原は藩閥と戦う政治家と評価された。



辞令「内務大臣」（当館蔵）

明治39年（1906）に第一次西園寺公望内閣の内務大臣に就任した原は、第二次西園寺公望内閣・第一次山本権兵衛内閣でも内務大臣を歴任した。写真は第一次西園寺公望内閣のもの。



水野錬太郎書  
「三行詩 懷故原首相」（当館蔵）

原内相のもとで大臣秘書官、内務次官を務めた水野錬太郎が認めた原敬追悼の書。水野は歴代大臣の秘書官を十年勤めるなど、内務省の事情に精通していた人物で、内務大臣時代の原を補佐した。



写真「内務省庁舎」（国立国会図書館蔵）

内務省は、現在の総務省・警察庁・国土交通省・厚生労働省などに相当する行政を管轄しており、広大な権限を持つことから「省庁の中の省庁」と呼ばれた。写真は明治・大正期の庁舎で、現在の東京都千代田区大手町にあった。

※注意

上記4点の画像は本展周知のみに使用してください。  
（鮮明な画像を御要望される場合は担当者へ御連絡ください）  
掲載にあたりクレジットとして収蔵場所を明記してください。  
掲載紙を一部、当館保存として寄贈してください。

【問い合わせ先】

原敬記念館 担当：佐々木（ささき）  
指定管理者：（公財）盛岡市文化振興事業団  
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮4丁目38-25  
TEL (019)636-1192  
FAX (019)636-1185

原敬記念館 第70回企画展

内務大臣

原敬

— 巨大官庁

”内務省“を率いた男—



内務省庁舎  
(国立国会図書館蔵)

令和8年6月13日(土) - 8月16日(日)  
原敬記念館小ホール 企画展示コーナー

- 開館時間 / 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 / 毎週月曜日 (祝日の場合は翌平日)
- 入館料 / 一般 300円 (団体 240円)  
高校生 200円 (団体 160円)  
小・中学生 100円 (団体 80円)  
団体入館料は20人以上の団体に適用します  
盛岡市内の小・中学生は無料です

主催 / 原敬記念館 (所管:盛岡市教育委員会)  
公益財団法人盛岡市文化振興事業団  
共催 / 原敬を想う会



指定管理者: 公益財団法人盛岡市文化振興事業団

原敬記念館

HARA-KEI MEMORIAL MUSEUM

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮4丁目38-25  
TEL:019-636-1192 FAX:019-636-1185

原敬記念館  
第70回企画展

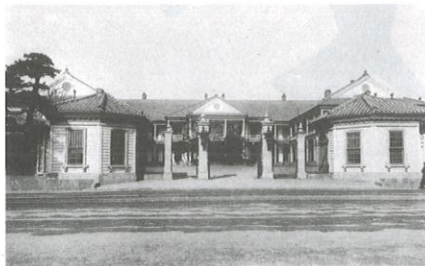
# 内務大臣・原敬

一巨大官庁  
“内務省”を率いた男—

令和8年6月13日(土)～8月16日(日)

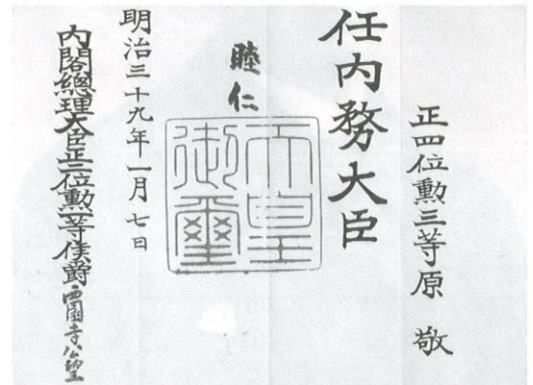
明治39年(1906)に発足した第一次西園寺公望内閣で、原敬は内務大臣に就任します。内務大臣は地方行政・警察・土木などの内務行政を統轄する内務省の長で、事実上の副総理といえるポストです。それまで内務省と無縁だった原ですが、内務大臣就任後は様々な改革を進め、政党政治家として頭角を現していきます。特に郡制廃止法案の提出は、藩閥と戦う政治家というイメージを世間に与えました。その後も第二次西園寺公望内閣、第一次山本権兵衛内閣の内務大臣を歴任する中、管轄外の案件にも携わるなど、原は政治家として大きく成長していきました。

今年が原が初めて内務大臣に就任して120年となることから、内務大臣としてどのような政策を進めたのか関連資料を通して紹介します。



内務省庁舎  
現在の千代田区大手町にあった。

原敬 | 1856～1921 |  
安政3年(1856)2月9日、岩手郡本宮村(現盛岡市本宮)に生まれる。盛岡藩校・作人館に学び上京、司法省法学校・郵便報知新聞記者等を経て外務省に入る。やがて政界へ進出、内務大臣等を経て第19代内閣総理大臣となった。日本初の本格的政党内閣を組織した「平民宰相」として支持を集めたが、大正10年(1921)11月4日、東京駅にて兇刃に倒れた。享年65歳。



辞令「内務大臣」

明治39年(1906)に第一次西園寺公望内閣の内務大臣に就任した原は、第二次西園寺公望内閣・第一次山本権兵衛内閣でも内務大臣を歴任した。写真は第一次西園寺公望内閣のもの。

休職知事並事務官人名

内務大臣となった原は老齢の知事を更迭・左遷し、若手官僚の登用を進めた。新進の学士官僚の支持を得るとともに藩閥の勢力を削ることもつなげた。

## ◆企画展開連講座

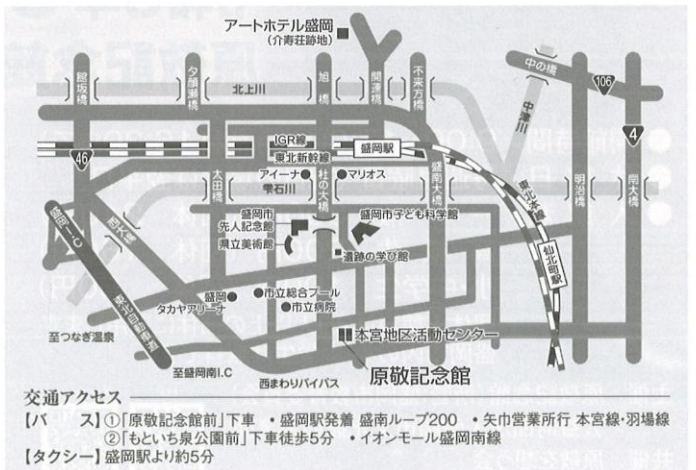
演題/巨大官庁“内務省”と原敬  
講師/佐々木章行(原敬記念館主任学芸員)  
日時/令和8年8月8日(土)13:30～15:00  
料金/無料  
受付/令和8年7月18日(土)10:00～電話にて先着20人

## ◆担当学芸員による展示解説

日時/①令和8年7月4日(土)13:30～14:15  
② “ 8月8日(土)15:15～16:00  
料金/入館料が必要  
受付/①令和8年6月13日(土)、②7月18日(土)  
いずれも10:00～電話にて先着20人

## (公財)盛岡市文化振興事業団からのお知らせ [他館のご案内]

- ◎盛岡市先人記念館  
第73回企画展「奉仕の心 柴内魁三」  
令和8年7月11日(土)～9月6日(日)
- ◎石川啄木記念館  
啄木生誕140周年記念 盛岡市・玉山村合併20周年記念  
石川啄木記念館第20回企画展  
「啄木いしぶみ紀行②みちのくに建つ碑(いしぶみ)」  
令和8年6月27日(土)～9月27日(日)
- ◎盛岡てがみ館  
第77回企画展「盛岡のモノとヒト」  
令和8年6月17日(水)～10月5日(月)



交通アクセス  
【バス】①「原敬記念館前」下車・盛岡駅発着 盛南ループ200・矢巾営業所行 本宮線・羽場線  
②「もといち東公園前」下車徒歩5分・イオンモール盛岡南線  
【タクシー】盛岡駅より約5分